

栃木県地域女性活躍推進補助金実績報告書 個別事業

市町村名: 小山市

事業番号	①
1. 個別事業名	女子高生サマーセミナー
2. 実施期間	平成31(2019)年4月1日 ～ 令和元(2019)年10月31日
3. 総事業費	140,466 円
4. 事業内容	女性活躍推進者から、希望あふれる女子高校生に向けてメッセージをいただいた。また、市内在住の様々な分野で活躍する女性たちをパネリストを迎え、働く女性の現状や課題、女性の人生設計に関わる様々な出来事、働くことの喜び、課題を乗り越えるための視点について、パネルディスカッションを行った。女子高校生が自分自身の未来や主体的に社会に関わるキャリア形成について考え、グループワークを通じて、自身のキャリアデザインを具体化することができた。 ・経済団体、関係団体など官民連携の考え方及び具体的な連携主体・連携方法 市内の5つの県立高校(小山高等学校、小山城南高等学校、小山南高等学校、小山北桜高等学校、小山西高等学校)と国立小山工業高等専門学校があることから、各学校を訪問し、学校長や担当者に事業説明を行い、校内でのポスター掲示や女子高生に直接チラシを配布していただくよう依頼した。また、各学校に対して参加の声かけと、参加者の取りまとめも依頼した。 おやま女性活躍応援塾の委員の2人にパネリストとして参加していただいた。また、おやまイクボス評定登録事業所かつ小山市ワーク・ライフ・バランス推進事業者の代表者の1人にもパネリストとして参加いただいた。 ・連携地方公共団体及び具体的な連携方法 県の女性活躍専用サイト「とちぎウーマンナビ」や県で発信する女性活躍応援メールマガジンにセミナーへの参加者募集について掲載を依頼し、広く周知を行った。 小山地区定住自立圏連携協定市町(下野市、野木町、茨城県結城市)にも、セミナー開催の募集案内を送付し、広く周知を行った。 ・交付金事業間連携、他施策との連携 国立小山工業高等専門学校に対して事業案内の説明の際に、小山市ワーク・ライフ・バランス推進事業者認定事業の案内も併せて行い、申請をいただき、令和元年度推進事業者として小山市男女共同参画フェアの中で、認定証交付式を行い、認定に至った。 県の女性活躍専用サイト「とちぎウーマンナビ」や県で発信する女性活躍応援メールマガジンにセミナーへの参加者募集について掲載を依頼し、広く周知を行うよう努めた。 各学校への事前事業説明時に、栃木県が運営する「とちぎ女性活躍応援団」のチラシを配付した。
5. 事業効果及び効果検証の概要	女子高校生を対象とした初めての試みであったが、市広報や市ホームページへの募集掲載、協定市町のチラシ配布協力もあり、依頼した学校以外からの自発的な申込みもあり、目標値を超える参加があった。事業の方向性としては時代にマッチした形で実施でき、一定の効果があったと思われる。
6. 目標達成度及び達成状況に対する評価	事業目標の参加人数、事前事業説明校数、セミナー満足度ともに達成できた。特に参加者のセミナー満足度は100%となり、充実した内容の濃いセミナーになった。
7. 今後の課題	今後も、若年層に対するキャリアデザイン事業は必要であると考えている。特に、将来を希望あふれる未来を描く具体的なキャリアプランを考える時期にある女子高校生を応援する意味でも今後も何らかの形で事業を継続していく必要がある。

栃木県地域女性活躍推進補助金実績報告書 個別事業

市町村名: 小山市

事業番号	②						
1. 個別事業名	おやまイクボス評定						
2. 実施期間	平成31(2019)年4月1日 ~ 令和2(2020)年3月17日						
3. 総事業費	7,202円						
4. 事業内容	小山市では、平成30年10月に市長と市内40事業所の代表者で官民合同による「おやまイクボス合同宣言」を行い、この取組を継続するため、合同宣言事業所と市で、協議会(おやまイクボス評定)を結成した。さらにイクボスの輪を広めるため、イクボスの趣旨に賛同する事業所を新たに募集している。 今年度は、「おやまイクボス評定」においてセミナーと交流会を同日開催した。セミナーは「働き方改革」実務対応セミナーと題して、実践的な取組方法を盛り込み、今後の経営の指針となるような内容とした。また、交流会では、ワーク・ライフ・バランスや働き方改革、女性活躍推進など、有意義な情報交換の場となった。 <table border="1"> <tr> <td>・経済団体、関係団体など官民連携の考え方及び具体的な連携主体・連携方法</td> <td> 経済産業団体(小山商工会議所、間々田商工会、小山市美田商工会、桑絹商工会、小山市工業団地連絡協議会、小山市工業会)と小山市金融団に向け、当事業について周知を図り、併せて募集についても協力依頼を行った。 セミナー講師は、小山市と包括連携協定を結んだ企業から派遣していただいた。 </td> </tr> <tr> <td>・連携地方公共団体及び具体的な連携方法</td> <td> 県の女性活躍専用サイト「とちぎウーマンナビ」や県で発信する女性活躍応援メールマガジンにおやまイクボス評定登録事業所募集についての掲載を依頼し、広く周知を行った。また、「おやまイクボス評定」開催や実施結果についても、同様に広く周知を行った。 県「とちぎ女性活躍応援団」の周知・登録について、「おやまイクボス評定」開催時に、広く呼びかけ、参加企業や参加者の意識を高めた。 </td> </tr> <tr> <td>・交付金事業間連携、他施策との連携</td> <td> 小山市ワーク・ライフ・バランス推進事業者の「おやまイクボス評定」への登録、参加協力が得られた。登録事業所に向け「小山市男女共同参画フェア」「トップセミナー」「女性異業種交流会」の開催周知、参加の呼びかけを行った。 県「とちぎ女性活躍応援団」の周知・登録呼びかけもあわせて実施し、参加企業や参加者の意識を高めた。また、県の女性活躍専用サイト「とちぎウーマンナビ」や県で発信する女性活躍応援メールマガジンへの掲載を行い、広く周知・参加促進を行った。 </td> </tr> </table>	・経済団体、関係団体など官民連携の考え方及び具体的な連携主体・連携方法	経済産業団体(小山商工会議所、間々田商工会、小山市美田商工会、桑絹商工会、小山市工業団地連絡協議会、小山市工業会)と小山市金融団に向け、当事業について周知を図り、併せて募集についても協力依頼を行った。 セミナー講師は、小山市と包括連携協定を結んだ企業から派遣していただいた。	・連携地方公共団体及び具体的な連携方法	県の女性活躍専用サイト「とちぎウーマンナビ」や県で発信する女性活躍応援メールマガジンにおやまイクボス評定登録事業所募集についての掲載を依頼し、広く周知を行った。また、「おやまイクボス評定」開催や実施結果についても、同様に広く周知を行った。 県「とちぎ女性活躍応援団」の周知・登録について、「おやまイクボス評定」開催時に、広く呼びかけ、参加企業や参加者の意識を高めた。	・交付金事業間連携、他施策との連携	小山市ワーク・ライフ・バランス推進事業者の「おやまイクボス評定」への登録、参加協力が得られた。登録事業所に向け「小山市男女共同参画フェア」「トップセミナー」「女性異業種交流会」の開催周知、参加の呼びかけを行った。 県「とちぎ女性活躍応援団」の周知・登録呼びかけもあわせて実施し、参加企業や参加者の意識を高めた。また、県の女性活躍専用サイト「とちぎウーマンナビ」や県で発信する女性活躍応援メールマガジンへの掲載を行い、広く周知・参加促進を行った。
・経済団体、関係団体など官民連携の考え方及び具体的な連携主体・連携方法	経済産業団体(小山商工会議所、間々田商工会、小山市美田商工会、桑絹商工会、小山市工業団地連絡協議会、小山市工業会)と小山市金融団に向け、当事業について周知を図り、併せて募集についても協力依頼を行った。 セミナー講師は、小山市と包括連携協定を結んだ企業から派遣していただいた。						
・連携地方公共団体及び具体的な連携方法	県の女性活躍専用サイト「とちぎウーマンナビ」や県で発信する女性活躍応援メールマガジンにおやまイクボス評定登録事業所募集についての掲載を依頼し、広く周知を行った。また、「おやまイクボス評定」開催や実施結果についても、同様に広く周知を行った。 県「とちぎ女性活躍応援団」の周知・登録について、「おやまイクボス評定」開催時に、広く呼びかけ、参加企業や参加者の意識を高めた。						
・交付金事業間連携、他施策との連携	小山市ワーク・ライフ・バランス推進事業者の「おやまイクボス評定」への登録、参加協力が得られた。登録事業所に向け「小山市男女共同参画フェア」「トップセミナー」「女性異業種交流会」の開催周知、参加の呼びかけを行った。 県「とちぎ女性活躍応援団」の周知・登録呼びかけもあわせて実施し、参加企業や参加者の意識を高めた。また、県の女性活躍専用サイト「とちぎウーマンナビ」や県で発信する女性活躍応援メールマガジンへの掲載を行い、広く周知・参加促進を行った。						
5. 事業効果及び効果検証の概要	当事業を広く周知することを目指し、さまざまな媒体を活用しPRを行った結果、「イクボス」に対する意識の啓発ができた。実施計画において、開催回数目標値を2回としていたが、セミナーと交流会を同時に開催することができ、あらゆる業種の経営者が一同に会し、有意義な意見交換の場とすることができた。						
6. 目標達成度及び達成状況に対する評価	おやまイクボス評定登録事業所は53社、小山市ワーク・ライフ・バランス推進事業者は52社と目標値を超えた。また、「おやまイクボス評定」参加事業所による交流会満足度、女性活躍の取組に対する意欲度ともに100%となった。それぞれ、事業所の「イクボス」や「女性活躍」に対する機運の高まりを感じられる結果が得られた。						
7. 今後の課題	経営者や人事担当者の抱える新たな問題(LGBTや外国人労働者の対応など)に対して、来年度以降の「おやまイクボス評定」でテーマとして取り上げていくことが課題となる。						

栃木県地域女性活躍推進補助金実績報告書 個別事業

市町村名：小山市

事業番号	③						
1. 個別事業名	トップセミナー						
2. 実施期間	平成31(2019)年4月1日 ～ 令和2(2020)年3月17日						
3. 総事業費	533,009円						
4. 事業内容	小山地区定住自立圏連携協定市町の事業所の経営者や人事・管理部門担当者、従業員を対象とした、女性活躍の推進に対する理解と働き方の見直しなどの意識の醸成を図ることを目的に「ダイバーシティの推進」をテーマとした講演会を開催した。講演会に先立ち、ワーク・ライフ・バランスに関する先進的な取組を推進する市内事業所にその取組内容について発表していただいた。 また、来年度の事業開催に向けて、企画内容の検討、講師選定や日程調整等、準備を進めている。 <table border="1"> <tr> <td>・経済団体、関係団体など官民連携の考え方及び具体的な連携主体・連携方法</td> <td>経済産業団体(小山商工会議所、間々田商工会、小山市美田商工会、桑絹商工会、小山市工業団地連絡協議会、小山市工業会)や金融団体等と連携し、事業の周知、関係する事業所への積極的な参加を呼びかけ、参加者の確保を行った。</td> </tr> <tr> <td>・連携地方公共団体及び具体的な連携方法</td> <td>県の女性活躍専用サイト「とちぎウーマンナビ」や県で発信する女性活躍応援メールマガジンにセミナーへの参加者募集について掲載を依頼し、広く周知を行った。 小山地区定住自立圏連携協定市町(下野市、野木町、茨城県結城市)にも、セミナー開催の募集案内を送付し、広く周知を行った。</td> </tr> <tr> <td>・交付金事業間連携、他施策との連携</td> <td>県の女性活躍専用サイト「とちぎウーマンナビ」や県で発信する女性活躍応援メールマガジンへの掲載を行い、広く周知・参加促進を行った。 参加事業所に向け、「おやマイクボス評定」「小山市ワーク・ライフ・バランス推進事業者認定事業」の周知を行い、登録や申請につなげた。県「とちぎ女性活躍応援団」の周知・登録呼びかけもあわせて実施し、参加企業や参加者の意識を高めた。 小山市ワーク・ライフ・バランス推進事業者の一事業所に先進的な取組内容発表について協力をいただいた。</td> </tr> </table>	・経済団体、関係団体など官民連携の考え方及び具体的な連携主体・連携方法	経済産業団体(小山商工会議所、間々田商工会、小山市美田商工会、桑絹商工会、小山市工業団地連絡協議会、小山市工業会)や金融団体等と連携し、事業の周知、関係する事業所への積極的な参加を呼びかけ、参加者の確保を行った。	・連携地方公共団体及び具体的な連携方法	県の女性活躍専用サイト「とちぎウーマンナビ」や県で発信する女性活躍応援メールマガジンにセミナーへの参加者募集について掲載を依頼し、広く周知を行った。 小山地区定住自立圏連携協定市町(下野市、野木町、茨城県結城市)にも、セミナー開催の募集案内を送付し、広く周知を行った。	・交付金事業間連携、他施策との連携	県の女性活躍専用サイト「とちぎウーマンナビ」や県で発信する女性活躍応援メールマガジンへの掲載を行い、広く周知・参加促進を行った。 参加事業所に向け、「おやマイクボス評定」「小山市ワーク・ライフ・バランス推進事業者認定事業」の周知を行い、登録や申請につなげた。県「とちぎ女性活躍応援団」の周知・登録呼びかけもあわせて実施し、参加企業や参加者の意識を高めた。 小山市ワーク・ライフ・バランス推進事業者の一事業所に先進的な取組内容発表について協力をいただいた。
・経済団体、関係団体など官民連携の考え方及び具体的な連携主体・連携方法	経済産業団体(小山商工会議所、間々田商工会、小山市美田商工会、桑絹商工会、小山市工業団地連絡協議会、小山市工業会)や金融団体等と連携し、事業の周知、関係する事業所への積極的な参加を呼びかけ、参加者の確保を行った。						
・連携地方公共団体及び具体的な連携方法	県の女性活躍専用サイト「とちぎウーマンナビ」や県で発信する女性活躍応援メールマガジンにセミナーへの参加者募集について掲載を依頼し、広く周知を行った。 小山地区定住自立圏連携協定市町(下野市、野木町、茨城県結城市)にも、セミナー開催の募集案内を送付し、広く周知を行った。						
・交付金事業間連携、他施策との連携	県の女性活躍専用サイト「とちぎウーマンナビ」や県で発信する女性活躍応援メールマガジンへの掲載を行い、広く周知・参加促進を行った。 参加事業所に向け、「おやマイクボス評定」「小山市ワーク・ライフ・バランス推進事業者認定事業」の周知を行い、登録や申請につなげた。県「とちぎ女性活躍応援団」の周知・登録呼びかけもあわせて実施し、参加企業や参加者の意識を高めた。 小山市ワーク・ライフ・バランス推進事業者の一事業所に先進的な取組内容発表について協力をいただいた。						
5. 事業効果及び効果検証の概要	講演内容に対する評価が非常に高かった。おやマイクボス評定登録事業所や小山市ワーク・ライフ・バランス推進事業者が増えていることは事業所の意識改革が確実に進んでいると思われる。ワーク・ライフ・バランスの推進や女性活躍の取組に対する意識の醸成につながっている。						
6. 目標達成度及び達成状況に対する評価	参加人数も目標値を超え、参加人数事業所割合が35%に迫る数値となり、セミナー企画の充実と事業所への事業案内のPRの成果と考える。おやマイクボス評定登録事業所は53社、小山市ワーク・ライフ・バランス推進事業者は52社と目標値を超えた。女性活躍の取組に対する意欲度はすでに実践しているとの回答を含め、83%となった。事業所の意識改革は着実に進んでいると思われる。						
7. 今後の課題	引続き、トップセミナーを通じて、働く場の改革を推進していくことが重要と考える。小山市ワーク・ライフ・バランス推進事業者認定事業や「おやマイクボス評定」の取組との相乗効果を図り、働きたい働きやすいおやまの実現を目指す。						

栃木県地域女性活躍推進補助金実績報告書 個別事業

市町村名: 小山市

事業番号	④						
1. 個別事業名	女性異業種交流会						
2. 実施期間	平成31(2019)年4月1日 ~ 令和2(2020)年3月17日						
3. 総事業費	291,050円						
4. 事業内容	働く場における女性の活躍や働く意欲の向上を支援するため、様々な業種に就いている女性の交流会を開催し、他分野の働き方や情報交換の場を提供するものである。小山地区定住自立圏連携協定市町の技術職の女性や次世代の管理職を目指す女性を対象とした交流会を開催した。専門の講師によるキャリアデザインや女性管理職になるために必要な心身のケアについて、講話とグループワークを盛り込み、女性同士、業種の違う立場同士でそれぞれの職場において抱える課題や解決方法、女性の登用状況、個人としての生き方など意見交換を行った。また、今年度は女性活躍やワーク・ライフ・バランスにおける先駆的な取組をしている市内事業所の協力を得て、職場見学を合わせて実施した。 <table border="1"> <tr> <td>・経済団体、関係団体など官民連携の考え方及び具体的な連携主体・連携方法</td> <td> 経済産業団体(小山商工会議所、間々田商工会、小山市美田商工会、桑絹商工会、小山市工業団地連絡協議会、小山市工業会)や金融団体、建設業協同組合等と連携し、事業内容の検討と事業の周知、関係する事業所への積極的な参加を呼びかけ、参加者の確保を行った。 小山市工業会所属する事業所の協力を得て、工場、事業所見学を実施し、その事業所の会議室を借用し、交流会を開催した。 </td> </tr> <tr> <td>・連携地方公共団体及び具体的な連携方法</td> <td> 小山地区定住自立圏連携協定市町(下野市、野木町、結城市)と事業の企画・運営を行い、市町内の経済産業団体や金融団体への周知と企業・事業所内の女性社員や市町女性職員の参加について積極的な呼びかけを行った。 県「とちぎ女性活躍応援団」の周知・登録呼びかけも併せて実施し、参加企業や参加者の意識を高める。また、県の女性活躍専用サイト「とちぎウーマンナビ」や県で発信する女性活躍応援メールマガジンへの掲載を行い、広く周知・参加促進を行った。 </td> </tr> <tr> <td>・交付金事業間連携、他施策との連携</td> <td> 「トップセミナー」での開催周知、参加の呼びかけを行い、「小山市ワーク・ライフ・バランス推進事業者」や「おやまイクボス認定」登録事業者に向けて、事業の案内をし、参加者を募った。 小山市ワーク・ライフ・バランス推進事業者、おやまイクボス認定登録事業所の協力を得て、工場、事業所見学を行い、事業所内で交流会も開催した。 県「とちぎ女性活躍応援団」の周知・登録呼びかけもあわせて実施し、参加企業や参加者の意識を高めた。また、県の女性活躍専用サイト「とちぎウーマンナビ」や県で発信する女性活躍応援メールマガジンへの掲載を行い、広く周知・参加促進を行った。 </td> </tr> </table>	・経済団体、関係団体など官民連携の考え方及び具体的な連携主体・連携方法	経済産業団体(小山商工会議所、間々田商工会、小山市美田商工会、桑絹商工会、小山市工業団地連絡協議会、小山市工業会)や金融団体、建設業協同組合等と連携し、事業内容の検討と事業の周知、関係する事業所への積極的な参加を呼びかけ、参加者の確保を行った。 小山市工業会所属する事業所の協力を得て、工場、事業所見学を実施し、その事業所の会議室を借用し、交流会を開催した。	・連携地方公共団体及び具体的な連携方法	小山地区定住自立圏連携協定市町(下野市、野木町、結城市)と事業の企画・運営を行い、市町内の経済産業団体や金融団体への周知と企業・事業所内の女性社員や市町女性職員の参加について積極的な呼びかけを行った。 県「とちぎ女性活躍応援団」の周知・登録呼びかけも併せて実施し、参加企業や参加者の意識を高める。また、県の女性活躍専用サイト「とちぎウーマンナビ」や県で発信する女性活躍応援メールマガジンへの掲載を行い、広く周知・参加促進を行った。	・交付金事業間連携、他施策との連携	「トップセミナー」での開催周知、参加の呼びかけを行い、「小山市ワーク・ライフ・バランス推進事業者」や「おやまイクボス認定」登録事業者に向けて、事業の案内をし、参加者を募った。 小山市ワーク・ライフ・バランス推進事業者、おやまイクボス認定登録事業所の協力を得て、工場、事業所見学を行い、事業所内で交流会も開催した。 県「とちぎ女性活躍応援団」の周知・登録呼びかけもあわせて実施し、参加企業や参加者の意識を高めた。また、県の女性活躍専用サイト「とちぎウーマンナビ」や県で発信する女性活躍応援メールマガジンへの掲載を行い、広く周知・参加促進を行った。
・経済団体、関係団体など官民連携の考え方及び具体的な連携主体・連携方法	経済産業団体(小山商工会議所、間々田商工会、小山市美田商工会、桑絹商工会、小山市工業団地連絡協議会、小山市工業会)や金融団体、建設業協同組合等と連携し、事業内容の検討と事業の周知、関係する事業所への積極的な参加を呼びかけ、参加者の確保を行った。 小山市工業会所属する事業所の協力を得て、工場、事業所見学を実施し、その事業所の会議室を借用し、交流会を開催した。						
・連携地方公共団体及び具体的な連携方法	小山地区定住自立圏連携協定市町(下野市、野木町、結城市)と事業の企画・運営を行い、市町内の経済産業団体や金融団体への周知と企業・事業所内の女性社員や市町女性職員の参加について積極的な呼びかけを行った。 県「とちぎ女性活躍応援団」の周知・登録呼びかけも併せて実施し、参加企業や参加者の意識を高める。また、県の女性活躍専用サイト「とちぎウーマンナビ」や県で発信する女性活躍応援メールマガジンへの掲載を行い、広く周知・参加促進を行った。						
・交付金事業間連携、他施策との連携	「トップセミナー」での開催周知、参加の呼びかけを行い、「小山市ワーク・ライフ・バランス推進事業者」や「おやまイクボス認定」登録事業者に向けて、事業の案内をし、参加者を募った。 小山市ワーク・ライフ・バランス推進事業者、おやまイクボス認定登録事業所の協力を得て、工場、事業所見学を行い、事業所内で交流会も開催した。 県「とちぎ女性活躍応援団」の周知・登録呼びかけもあわせて実施し、参加企業や参加者の意識を高めた。また、県の女性活躍専用サイト「とちぎウーマンナビ」や県で発信する女性活躍応援メールマガジンへの掲載を行い、広く周知・参加促進を行った。						
5. 事業効果及び効果検証の概要	様々な業種に就いている女性の参加が得られ、講話やグループワークを通じて、他分野の働き方や情報交換の場を提供することができた。参加者の仕事に対するモチベーション保持やネットワークづくりへの支援ができたと思われる。						
6. 目標達成度及び達成状況に対する評価	参加者官民比率においては、民間の割合が56%となり事業所の女性活躍推進に対する積極的な姿勢が見られた。おやまイクボス認定登録事業所は53社、小山市ワーク・ライフ・バランス推進事業者は52社と目標値を超えた。交流会の満足度について100%を目標としていたが、97%となったことから、セミナー内容を精査し、さらに充実を図る必要がある。						
7. 今後の課題	働く場における女性の活躍を推進していくためには、今後も当事業のような交流会は必要と考える。対象とする女性たちのニーズを的確に把握し、それをうまく取り入れた企画となるよう検討を加え、開催日時や周知方法をも再考し継続的に実施していく。						